

**2020（令和2）年度
大阪府内地域連携プラットフォーム
事業報告**

（2020年4月～2021年3月）

2021（令和3）年 3月

課題1 大学と高校の有機的な接続・連携の強化

月	会議	行事等
4		HP オープンキャンパス情報の常時掲載
6	第1回推進委 (10日)	
8		共通大学案内ブックレットの作成・配布 (10万部) HPの改訂 (PF 形成大学情報掲載ページの設置)
9		第1回高大連携フォーラム (4日)
10	第2回推進委 (16日)	
2	第1回部会 (16日) 第2回部会 (書面会議)	
3		第2回高大連携フォーラム (5日)

(取組1) <高大連携・接続の検討>

事業概要・実施状況: https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai_st/forum/

【高大連携フォーラム】

- ・大阪府内の高校、大学における喫緊の課題をテーマに取り上げ、情報共有や効果的な連携方法について模索する場として「高大連携フォーラム」を開催している。
- ・今年度は、第1回に大学入試改革 (昨年度からの延期分)、第2回には ICT を活用した新しい教育をテーマに掲げ開催した。

《第1回実績》 参加者数: 計 83 名 【大学 64 名 (うち会員 14 名)、高校 6 名、その他 13 名】

<p>テーマ: 混迷する大学入試改革をいかに乗り越えるか～with コロナの時代に求められるものとは～</p> <p>日時: 2020年9月4日(金) 18:00～19:30</p> <p>場所: オンライン (Zoom)</p> <p>講演: 「混迷する大学入試改革を乗り越えて ～世界比較の視点と横浜市立大学の事例から～」 出光 直樹氏 (横浜市立大学 学務・教務部アドミッション課 専門職・学務准教授)</p>
--

《第2回実績》 申込者数: 計 38 名 【大学 21 名 (うち会員 12 名)、高校 10 名、その他 7 名】 ※2/15 時点

<p>テーマ: 高大連携と ICT 教育～コロナ禍から Society5.0 時代を見据えた新しい教育への挑戦～</p> <p>日時: 2021年3月5日(金) 18:00～20:00</p> <p>場所: オンライン (Zoom)</p> <p>基調講演: 「アフターコロナ! ニューノーマル?」 中村 伊知哉氏 (iU 情報経営イノベーション専門職大学 学長)</p> <p>事例発表: 「iPad のある学校 2021 ～1人1台端末時代の教育を考える～」 乾 武司氏 (近畿大学附属高等学校 教育改革推進室 室長)</p> <p>ファシリテーター: 加藤 映子氏 (大阪女学院大学 学長)</p>
--



【プラットフォーム形成大学情報の発信】

- ・ ホームページにて、従来の「オープンキャンパス情報」に加え、保護者（高校）向けのページを新たに設け、受験校選びに役立つ入試関連・奨学金等のプラットフォーム形成大学情報を閲覧できるようにした。
- ・ 高校3年生向けに「共通大学案内ブックレット」を新たに作成し、大阪府・大阪市教育委員会等の協力を得て府下の高校へ10万部配布した。なお、本取組は私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）の加点に向けた取組とも連動している。



大学コンソーシアム大阪 会員大学一覧

<p>① 大阪大学</p> <p>新田山崎 1-1</p> <p>大阪大学は、11の学部を擁する「研究型総合大学」です。学部や専攻の垣根を超えた学際連携による「分野横断型」の教育は、全学年を通じて積極的な学びにつながります。また、外国語学部を有する唯一の国立総合大学という特色を活かし、「国際学多様な外国語教育」も各学部の学びを特徴に展開しています。</p> <p>教育・学生支援課 入試課 ☎ 06-6507-7100 ✉ info@www.osaka-u.ac.jp</p>	<p>② 大阪教育大学</p> <p>鶴岡本町 4-4-69番-1</p> <p>本学は140年を超える歴史と伝統を有する総合的国公立大学です。大阪府都市圏に所在する7万㎡のメインキャンパスを擁し、毎時毎分最先端の設備が導入してある人材を輩出する一方、大阪市内に天王寺キャンパスを擁しています。そのほか、専攻横断型の「特許支援専攻」に特化した11の専攻学部を擁し、総合的な国公立大学を営んでいます。</p> <p>学務課 入試課 ☎ 072-271-2324 ✉ nyu@edu.osaka-kyu-u.ac.jp</p>
<p>③ 大阪市立大学</p> <p>大南地区 1-3-2</p> <p>大阪市立大学は、1990年に創設された「大阪府立教育院」を前身とし、今年140周年を迎えた歴史と伝統を有する公立大学です。総合キャンパスには、教育研究をはじめとした文系・理系の7学部、併設キャンパスには13の専攻（専攻単位は1専攻あり、各学部11専攻）を擁する総合型私立大学です。</p> <p>大学運営課 入試課 ☎ 06-6500-2148 ✉ info@www.osaka-cu.ac.jp</p>	<p>④ 大阪府立大学</p> <p>学芸地区 学芸院 1番 1号</p> <p>大阪府立大学の前身は、1962年（昭和37年）年に大阪府教育委員会が設置されたことまで遡ることできます。2019年には「学歴135年」とも称されました。専攻は、特に現代を先導する教育・研究拠点を目標として創設してきました。高い卒業率の高さ、実学の伝統が常に継承されており、次世代の社会を牽引し、世界を舞台に活躍できる人材を輩出しています。</p> <p>大学運営課 入試課 ☎ 072-272-4117 ✉ nyu@www.osaka-fu-u.ac.jp</p>

大学コンソーシアム大阪のインターンシップに参加したMMさんインタビューしてみたよ！

大学生活ってどんなん？

大阪の大学を選んだ理由について教えてください。

大阪府内に友人を作れたから。交友関係が広がったため、自分自身の学びたい分野が専門に学べるから。

大学生活について聞いていたイメージとのギャップはありましたか？

想像していた以上に自由だった。その分、別もかも自己責任になる。

あなたにとって大学の魅力ってどのようなものですか？

自由に自分のやりたいことができる。自分で機会を掴むことでどんな成長できる。今まで出会うことのないような人とたくさん出会える。

授業への期待感にどうですか？

期待感にはまだ授業中から少し足りないが大学生活を過ごした大阪府に貢献したい。

大学コンソーシアム大阪のプログラム（インターンシップ）に参加した理由について教えてください。

公務員の仕事に興味があり、また学割であったのが魅力だった。

大学コンソーシアム大阪のプログラム（インターンシップ）と大学生活の両立はどうでしたか？

夏休み中だったので学校生活にそこまで支障はなかった。

大学生活を目的や興味意にアドバイスをお願いします。

情報は提供されたので本当に学校で同じ目標に向かってる人だと助け合えることが、早く目標を定めることで効率よく学習できるしモチベーションにもつながる。

【発行先】大阪府内地域連携プラットフォーム（大阪府・大阪市・大阪府工業部・大学コンソーシアム大阪）
2022年7月発行

課題2 単位互換プログラムの充実

月	会議	行事等
4		前期開講（センター1科目）
6	第1回推進委・単互実務委合同会議（12日）	
8		追加募集科目 出願開始（26日） 集中科目開講（センター1科目）
9		後期開講（センター7科目）
10	第2回推進委・単互実務委合同会議（26日）	
12	2021年度単位互換担当者説明会	
1	第1回部会（22日）	
2	第2回部会（書面会議）	
3		2021年度単位互換科目 出願開始（22日）

（取組1）＜単位互換の充実＞

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/tg/>

【単位互換事業】

- ・前期は新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、センター3科目のうち、開講は1科目のみに留まった。後期開講の7科目は5科目をZoomやGoogle Classroomを用いたオンライン授業を実施、2科目は感染防止策を講じ、定員数を20名までとして対面授業を実施した。
- ・オンキャンパス科目は、科目登録数が昨年より20科目増の計363科目となったが、定員に対する充足率はコロナ禍の影響により、昨年の7.5%から減じて4.7%に留まった。また、各大学においては学生の受講機会の喪失に繋がらないよう最大限の配慮が見受けられた。

＜実績＞

		2019	2020	当年-前年	前年比
センター	科目数	10	11	1	110.0%
	出願校数	16	18	2	112.5%
	出願者数	554	503	-51	90.8%
オン	科目数	343	363	20	105.8%
	出願校数	14	14	0	100.0%
	出願者数	256	168	-88	65.6%

単位互換 募集リーフレット



（取組2）＜プログラムの充実＞

- ・課題7取組1「『AIリテラシー』をテーマとした講座」に後述

課題3 インターンシップの更なる充実と独自プログラムの開発

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/intern/shukatsu-quest/>

月	会議	行事等
4	第1回推進委 (21日)	
7~9		就活クエスト in OSAKA 第1~6弾 (7/29~11/28)
11	第2回推進委 (11日)	
1	第3回推進委 (25日) 第1回部会 (29日)	
2	第2回部会 (書面会議)	1-2年生向け早活1DAYプログラム(6日) プロジェクト型インターンシップ プレ企画(12日)

(取組1) <就業体験型インターンシップ>

(取組2) <プロジェクト型インターンシップ>

【就活クエスト in OSAKA (おおさか就Que)】

- ・従来の「就業体験型」、「プロジェクト型」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実地研修が難しく、今年度はやむなく中止。
- ・上記に代え、オンラインで実施可能なプログラムを検討し、「就活クエスト」と題して Zoom や Slack (ビジネスチャットツール) を活用した在阪の企業・団体と学生を繋ぐプログラムを構築、試行。
- ・既存の受入先企業・団体等に協力を仰ぎ、主に推進委員がファシリテーターを務め、月1回のペースで全6回実施した。

《実績》

		第1回	第2回	第3回
参加者	大学数	6	6	5
	人数	12	16	15
協力先		(株)かわべフードサービス	(株)コースキャリアセンター	(株)ヒッツカンパニー
テーマ		今後の飲食業界を考える	「働く」を考える	「モノを売る」ということ
コーディネーター (推進委)		相愛大学 竹内氏	大阪府立大学 中嶋氏	千里金蘭大学 坂口氏
形式		Zoom+Slack (1ヵ月ワーク)	Zoom (単日)	Zoom+Slack (1ヵ月ワーク)

		第4回	第5回	第6回
参加者	大学数	5	5	8
	人数	6	11	11
協力先		大阪市建設局/都市計画局	熊取町	イツモ・トラベル (株)
テーマ		技術職公務員	地方公務を学ぶ	旅行業の現状を知る
コーディネーター (推進委)		関西大学 市川氏	大阪学院大学 南氏	阪南大学 角井氏
形式		Zoom (単日)	Zoom (単日)	Zoom (単日)



【1-2年生向け 早活 1DAY プログラム】

- ・大阪の中小企業で働く人々からその魅力を学び、早期から学生の中小企業に対する関心や就業意識を高めることを目的とするプログラムを構築。
- ・「スポーツ」をキーワードに当初2日間の参集型で行う予定だったが、情勢を受け2月に1DAYオンラインプログラムとして実施した。
- ・プログラムの企画・実施にあたっては大阪商工会議所の協力を得た。

《実績》 参加者 8大学 15名

テ ー マ : スポーツから大阪の中小企業の魅力を知る
 日 時 : 2021年2月6日(土) 10:00~12:30
 場 所 : オンライン (Zoom)
 講演企業 : 山本化学工業(株)、川村義肢(株) ※登壇順
 ファシリテーター : 植田 真司氏 (大阪成蹊大学 マネジメント学部 教授)
 協 力 : 大阪商工会議所

【にしよどミライラボ (プロジェクト型インターンシップ プレ企画)】

- ・当初は夏季に実地によるプログラムとして実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、1DAYプログラムとして実施。
- ・本プログラムは、住民自治のまちを目指す西淀川区における若者の地域活動参画促進プロジェクトを今後3年計画で進める予定としており、その前段のプログラムとして位置付けた。
- ・当日は地域を支援する区役所職員の話を聞きながら、「若者の地域まつりへの参加促進」をテーマに学生ならではのアイデアを提案した。

《実績》 参加者 10大学 19名

テ ー マ : 西淀川区役所ミニ留学 にしよどミライラボ構想プロジェクト Ver.0 (ZERO)
 日 時 : 2021年2月12日(金) 13:00~15:30
 場 所 : オンライン (Zoom)
 講 師 : 松井 久仁夫氏 (大阪市西淀川区 地域支援課 地域支援グループ 担当係長)
 ファシリテーター : 松田 雅子氏 (NPO 法人 JAE 教育コーディネーター)

おおさか就活クエストチラシ



1-2年生向けプログラムチラシ



にしよどミライラボチラシ



課題4 グローバル化に対応できる学生や教職員を目指すための機会の提供

月	会議	行事
6	第1回推進委(4日)	
7		学生英語プレゼンコンテスト発表者募集開始(20日～)
8		第1回グローバル人材育成講座①②(24・31日)
9		第1回グローバル人材育成講座③(7日)
10	第2回推進委(20日)	
12		学生英語プレゼンテーションコンテスト(6日)
2	第1回部会(22日) 第2回部会(書面会議)	
3	第3回推進委(9日)	第2回グローバル人材育成講座①～④(1・4・8・11日)

(取組1) <他国・他地域との交流>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、海外渡航を伴う事業等は一律中止とした。今後の情勢に応じて交流を再開する予定。

(取組2) <グローバル人材育成事業>

【グローバル人材育成講座】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/recruitment/>

- ・従来の参集による講座に代えて、SGDs からソーシャルビジネスについて考えるオンラインプログラムを夏期、春期の2回開講。
- ・第1回は定員25名としていたが、好評につき定員を拡大し開講した。本プログラムに参加した学生のビジネスアイデアが講師の協力により企業とのコラボレーションに繋がるなど、副次的な広がりを見せた。
- ・第2回は4回連続プログラムとして定員40名で募集し、38名の申込があった。

《実績》 参加者数(第1回) 6大学27名
申込者数(第2回) 11大学38名(うち留学生9) ※2大学2名は会員大学外

テーマ：SDGsをビジネスで実践！ソーシャルビジネス発案講座
講師：西井 香織氏(NEWRON株) 代表取締役 CEO ※第1回、第2回とも

グローバル人材育成講座 チラシ



講座の様子



【学生英語プレゼンテーションコンテスト】

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/presenter/>

- ・高い国際意識やコミュニケーションスキルをもつ若者の育成に寄与するため昨年度に初開催し、今年度は下記のとおり開催した。新型コロナウイルス感染防止のため、来場者を関係者のみに限定し、当日の様子をYouTubeで同時配信した。
- ・コンテストの選に漏れた学生にも参画の機会を設けるため、そのうちの7名の学生が企画・運営メンバーとしてコンテスト実施に携わった。

《実績》

個人 3名（うち留学生2名が参加）
チーム 10組（うち留学生6名が参加）
運営学生メンバー 4大学7名（有志）

開催日時：2020年12月6日（日）10：00～17：00
会場：大阪科学技術センター（Youtubeで同時配信）
発表テーマ：①おおさかプラスチックごみゼロ宣言実現のために学生ができること
②大阪モデル・スマートシティの実現に向けた学生の提言

学生英語プレゼンコンテスト 発表者募集チラシ



当日の様子



課題5 学生主体の地域連携促進による大阪の活性化

月	会議	行事等
6	第1回推進委（9日）	
10		
12	第2回推進委（11日）	
1	第1回部会（28日）	
2	第2回部会（書面会議）	

（取組1）＜地方自治体からの受託事業＞

- ・大阪市東成区からの依頼で、区内企業の広報支援にあたっての連携として区のサステナブル企業認証制度への参画が実現し、今後の実質的な連携へと広げるきっかけ作りができた。

（取組2）＜地域連携事業＞

【地域連携 学生フォーラム in 大阪】

- ・プラットフォーム形成大学の学生自らが行っている地域活動（ゼミ活動やボランティア等）について発表し、交流を深める機会としているが、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑みてやむなく中止とした。

【地域連携 情報交換会】

- ・今年度より大学と自治体の地域連携担当者の意見交換を目的とした「地域連携 情報交換会」を再開し、エリアごと（大阪北部・東部・南部）に順次開催予定だったが、同上の理由により中止となった。
- ・これに代えて、次期中期計画の策定を見据えて、大阪の各自治体における大学や大学コンソーシアム大阪に対するニーズ把握のため、2020年11月から翌年1月にわたってアンケート調査を実施した。

【大阪中高生サマー・セミナー】

- ・今年度から大阪の大学やその学びに興味・関心のある中学生・高校生を対象とした「大阪中高生サマー・セミナー」として再開する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中学校・高校の夏休みのスケジュールが流動的になり、また大学としても準備が整わないため中止とした。

課題6 学生ボランティア事業の充実

（取組1）＜国際イベントへの学生参加の検討＞

【万博への参画】

- ・万博協会が進める「TEAM EXPO 2025」は、人々が協働して「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するための活動を推進する取組であり、この間、本プラットフォームにおいてもSDGsを軸にした様々な事業を展開している。このような取組を万博と紐づけ活動していくことは万博参画への第一歩であり、まずは既存事業を「TEAM EXPO 2025」へ登録していくことから進めていきたい。

【オンラインプラットフォーム構築】

- ・学生のボランティア意識の醸成を図るため、まずは学生が集って交流や活動ができる場として「オンラインプラットフォーム」の構築を検討中。
- ・その第一歩として、2021年3月に「インカレ学生座談会」をオンラインで開催し、コロナ禍での大学生生活の困りごとを共有しながら新しいことに取り組みたい学生を募り、意見交換する場を設ける。今後、これを踏まえて学生主体の活動へと繋げていく予定である。
- ・なお、プラットフォーム構築にあたり、コロナ禍をきっかけに、岐阜の地元企業と若者の交流オンラインプラットフォームを構築した「つながるキャンパス」運営者であるNPO法人G-netにヒアリングを行った。

（取組2）＜観光・集客にかかる学生参加の検討＞

- ・課題6取組1と同じ

課題7 社会との多様な接点の創出によるアクティブ・ラーニングの充実

(取組1) <学生による企画・運営事業の創出>

【AI 講座の実施】

- ・前年の AI 講座の試行を受けて、受講者からは継続を希望する声や、大学教職員からも学内のカリキュラムに組み込みたいなどとの感想が寄せられ好評を得たため、今後の単位互換化を見据えたプログラムを現在企画・検討中である。
- ・なお、今年度は昨年行った AI 講座をプラットフォーム主催の SD 研修として 10 月に開催した。

【起業インターンシップ・プログラム (新)】

- ・「起業」という新たな視点から「働く」ことを考える機会提供として、本プログラムを新たに企画し、試行した。
- ・試行にあたっては、Osaka Innovation Hub と協議を重ね、大阪で活躍する起業家の体験談を聞きながら、グループで SDGs をテーマにビジネスアイデアを提案するといったテーマを設定した。
- ・実施にあたっては、前述の就活クエストのノウハウを生かし、オンラインによる 1 か月プログラムとした。

《実績》 参加者 7 大学 14 名

テーマ：オンラインで知る “起業” という働き方
期間：2020 年 11 月 7 日 (土) ~ 12 月 5 日 (土)
場所：オンライン (Zoom)
講師：権 基哲氏 (Con 代表)、野崎 麻衣氏 (Osaka Innovation Hub プランナー)、 中谷 タスク氏 (株式会社 Replace 代表取締役)、 森澤 友和氏 (The DECK 株式会社 代表取締役 CEO)
ファシリテーター：竹内 琢哉 氏 (相愛大学 学生支援センター、大学コンソーシアム大阪 インターソープ® 部会推進委員)
協力：Osaka Innovation Hub

(取組2) <学生による成果発表の場の創出>

- ・課題 6 取組 1 とも連動し、今般の新型コロナウイルスの事態をきっかけに、オンライン化が加速度的に進んでおり、交流の場や成果発表についてもオンラインによる場合を含め、検討を進めている。

課題8 内なる国際化の推進

(取組1) <留学生の環境整備>

- ・昨年初めて開催した「学生英語プレゼンテーションコンテスト」(課題 4 取組 2) が好評だったこともあり、留学生、国内学生の交流機会の拡大やコンテストを通じて大阪の国際化に対する意識醸成を目的に 12 月に開催した。
詳細は課題 4 取組 2 のとおり。

課題9 SD研修の更なる充実

月	会議	行事等
6	第1回推進委（11日）	
7	第2回推進委（17日）	
9		第1回サロン（25日）
10		初任者SD研修（19、29日）
11		第2回サロン（13日）
12	第3回推進委（1日）	
1		第3回サロン（20日）
2	第1回部会（3日） 第2回部会（書面会議）	SD研修（19、26日）

（取組1）＜SD研修の戦略的な実施＞

【各種研修】※いずれも講師は研修部会推進委員が担う

事業概要・実施状況：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/schedule/>

・初任者SD研修

大学職員としての基礎知識（法令基礎、高等教育の現状把握等）を学び、実際の現場で生かせる力を身につけることを目的に開催。

新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑みて、Youtube（オンデマンド）や Zoom（オンライン）を組み合わせ、2日間の研修を実施。

・大学職員のためのID（インストラクショナル・デザイン）研修

教育活動の効果・効率・魅力を高めるための理論・モデル・技法の集大成であるインストラクショナル・デザインの基礎の習得を目的に2回連続プログラムとして開催。

＜実績（受講者内訳）＞

初任者SD研修（10月19、29日）	16大学36名（うち会員外2大学3名）
ID研修（2月19、26日）	13大学・団体24名（うち会員外5大学・団体8名）

初任者研修 チラシ



研修の様子



【Salon De 大学コンソーシアム大阪 (SD 勉強会)】

事業概要・実施状況 : <https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/salon/>

- ・前年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になった2回のサロンを「With コロナ時代に求められる働き方」という視点を交えて開催。また第3回は発達障害のある学生への支援をテーマに開催した。
- ・サロン終了後には講師や参加者間の意見交換、また相互懇親の場として情報交換会を開催した。

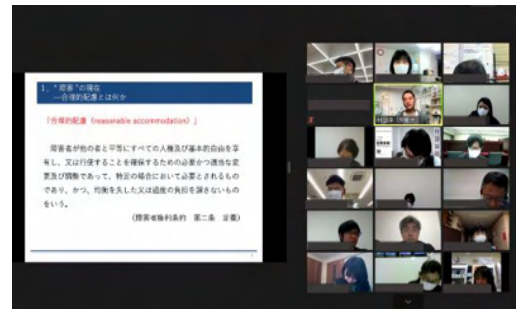
《実績》

開催月	テーマ・講師	参加者数
第1回 (9月)	「職員組織の未来を考える ～真の働き方改革～」 野田 稔氏 (明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授)	20 大学 36 名 (うち会員外 7 大学 7 名、その他 2 名)
第2回 (11月)	「大学組織におけるワーク・ライフ・バランスを考える ～相乗効果・好循環を生み出す取り組みとは?～」 湯本 理絵 氏 (株式会社 ICB/WLBC 関西)	12 大学 23 名 (うち会員外 1 大学 1 名)
第3回 (1月)	「発達障害のある学生への支援を考える」 村田 淳 氏 (京都大学 学生総合支援センター 准教授)	19 大学 39 名 (うち会員外 6 大学 6 名、その他 1 名)

サロンチラシ



サロンの様子



課題 10 その他

月	会議	行事
6	第 1 回協議会 (25 日)	
7	第 1 回分科会 1 (31 日)	
8	第 2 回分科会 1 (28 日)	
9	第 3 回分科会 1 (11 日)	シェアトーク (国際交流部門 : 2 日)
10	第 4 回分科会 (9 日)	SD 研修 (2 日)、シェアトーク (地域連携部門 : 7 日) 活動報告会 (9 日)、公開講座 (15 日)
11	第 3 回協議会 (9 日)	
12		日本インターンシップ学会関西支部研究会 開催
3	第 3 回協議会 (5 日) 第 5 回分科会 (12 日)	

【分科会 1 の設置】

2020 年 5 月に開催した「第 14 回通常総会」において、今年度も私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3・プラットフォーム型）に申請することが全会一致で承認された。これを受けて大阪府内地域連携プラットフォーム協議会のもとにタイプ 3 申請に関する検討等を行う「分科会 1」を設置し加点に向けた取組を進めた。

【公開講座等の開催】

昨年 8 月から 10 月にかけて実施した現中期計画の中間点検にかかる調査結果や国の動向、またコロナ禍をきっかけに Society5.0 時代への加速度的な移行が進んでいることを踏まえて、10 月に公開講座「産官学の新たな連携の方策」、また SD 研修「AI がもたらす新しい教育の在り方」を開催した。

【活動報告会の開催】

2020 年 2 月に活動報告会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い 10 月に延期して開催した。

【シェアトーク（事務担当者情報交換会）の開催】

コロナ禍の各大学の対応状況を、プラットフォーム形成大学の部門担当職員間等で共有する機会として「シェアトーク」（事務担当者情報交換会）を開催した。（9 月：国際交流部門、10 月：地域連携部門）

【日本インターンシップ学会関西支部研究会の共催】

プラットフォーム形成大学でのインターンシップ活動をコロナ禍の対応状況も交えながら、広く発信・共有することができた。